

適用規格					
定 格	使用温度範囲	-35℃ ~ +85℃ (注1)	保存温度範囲	-10℃ ~ +60℃	
	電 圧	AC 250V			
	電 流	3 A			
<b>性 能</b>					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構 造	外觀, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電 氣 的 性 能	接触抵抗	100 mA (DC又は 1000 Hz) で測定する。	30 mΩ 以下	○	—
	絶縁抵抗	DC 500 Vで測定する。	1000 MΩ 以上	○	—
	耐電圧	AC 650 Vの電圧を 1 分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	—
	繰り返し動作	30 回の抜き差しを行う。	①接触抵抗: 30 mΩ 以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐振性	周波数 10~55 Hz, 片振幅 0.75 mmで 3 方向 各 2時間試験する。	① 10 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐衝撃性	加速度 490 m/s <sup>2</sup> , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3 方向 各 3 回試験する。	① 10 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度 +40 ± 2℃, 湿度 90~95 %中に 96 時間放置する。	①接触抵抗: 30 mΩ 以下 ②絶縁抵抗: 500 MΩ 以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	温度サイクル	温度 -55 → +5~+35 → +85 → +5~+35℃ 時間 30 → 10~15 → 30 → 10~15分 を 5 サイクル 試験する。	①接触抵抗: 30 mΩ 以下 ②絶縁抵抗: 1000 MΩ 以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	はんだ耐熱性	【 フローはんだ付けの場合 】 はんだ温度 260±5 °C, 浸せき時間 10 秒間で試験する。 【 手はんだ付けの場合 】 はんだごて温度 350 °C, 3 秒間の条件にてはんだ付けを行う。 但し、端子に力を加えないこと。	外觀の変形及び端子等に著しいガタがないこと。	○	—
	はんだ付け性	はんだ温度 245±5℃, 浸せき時間 5秒間で試験する。	半田浸せき面の95%以上が新しい半田でぬれていること。	○	—
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
△	0				
備考			承認	WR. FUKUCHI	18.06.05
(注1) 通電時の温度上昇を含みます。			検 図	TS. MIYAZAKI	18.06.05
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。			担 当	KT. KUSAKA	18.06.05
			製 図	KT. KUSAKA	18.06.04
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目		図番	SLC-082739-95-01		
<b>HRS</b>	製品規格表		製品名	MDF7S-30DP-2. 54DSA (95)	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL547-0324-7-95	△ 1/1